

秋ノ五裏

三途へづの暗へやみにまよひ給ふらんかしさいへん
世にふるひいせい朝へてうにかまびすし

人ひとりとしてつきたてまつる事な

し及王位へきうわうゐの理へことはり思ひしられて

よしや君むかしの玉へたまの床へゆかとても

かゝらんのちはなにゝかはせん

おなし国へくに善導寺（手書きで「導」を「通」に修正）へぜんだうじと申山に住へす
み侍りし

に庵りのまへなる姿を見て

ひさにへてわが後へのちの世をとへよまつ